

第10回 山梨県老施協 研究総会 プログラム

会場：アピオ甲府 タワー館4階 第1会場「祥華の間」 第2会場「吉光の間」

8：30～9：00 受付

9：00～9：10 開会式

時間	会場	発表内容	演題		発表者		
			副題	施設名	職種・役職名	氏名	
1 9：10～9：25	第1	施設	あの日の空と同じ青空	特別養護老人ホーム	ケアマネジャーリーダー	猪股 勇貴	
		①	笑顔で最期を迎える為に	明山荘	介護職	凧 朝海	
	看取りに入ったご利用者様とご家族の思いに寄り添ったケアの事例						
	施設	声掛けから始まる (ユマニチュードに基づいて)	特別養護老人ホーム	介護職	中澤 恵美		
第2	②	もっと心通わせるために	春日居荘				
声掛け、関わり方の工夫によって、よりその人らしさを引き出し、穏やかな生活をおくることができるよう施設で取り組んだ発表							
9：25～9：30		発表認定状 授与式					
2 9：30～9：45	第1	施設	おやつレク・食事レクを通して生活の質の向上	特別養護老人ホーム	ユニットリーダー	荒木 慎	
		⑤	生き生きとした生活に向けてのアプローチ	風林荘	介護職	末木 久美	
	職員主導で行っていたおやつレク、食事レクを入居者主体にするための試み。生活の質の向上につながるレクリエーションを目指して取り組んだ発表						
	施設	あなたは幸せでしたか	特別養護老人ホーム	介護職	仲村 清香		
第2	①	家族ではない私にできること	福寿荘	介護主任	内藤 友貴美		
家族や身寄りのいないご利用者様が、「昔働いていた職場に行きたい」という思いに職員と最期まで寄り添った取り組みの発表							
3 9：45～10：00	第1	施設	アルプスの少女ハイジに学ぶ	特別養護老人ホーム	介護副リーダー	小林 孝仁	
		④	～クララはなぜ立てたのか～	明山荘	介護リーダー	藤巻 幸司	
	歩行機能はまだ残っているのか？スタッフとして判断が難しい中で、日常介護で模索した発表						
	施設	利用者様に寄り添う食事支援の取り組み	特別養護老人ホーム	管理栄養士	柿島 穂津美		
第2	③	食べる喜び・生きる意欲につながる栄養ケア	しもべ荘				
管理栄養士として利用者様に寄り添いながら、生活を楽しむお手伝いをするを目標にサービスを行っており、食事摂取量不良の利用者様のケアの為、利用者様の声や思いをヒントに、食事支援の取り組み事例を発表する							
4 10：00～10：15	第1	施設	外にいけなくても外食気分	特別養護老人ホーム	生活相談員	荒井 秀太	
		③	これ食べたいを現実に	快晴苑			
	外食しなくても、普段の食事や行事を通して食への楽しみを提供できるよう取り組んだ発表						
	在宅	口腔ケアで取り組める事	デイサービスセンター	介護職	長田 真		
第2	④	口腔ケアで私達が取り組んだ事	あかし	介護職	小林 美連		
私達が今まで行っていた口腔ケアで利用者様の口腔内がしっかり清潔に保たれているか疑問に思い、口腔内の清潔を保ち、その大切さを再認識した事例の発表							

時間	会場	発表内容	演題		発表者			
			副題	施設名	職種・役職名	氏名		
5	10:15~10:30	第1	施設	行動心理症状の軽減	特別養護老人ホーム	ユニットリーダー	小西 裕也	
			②	まずは関わりから	和楽WARAKU	介護職	雨宮 新	
		入居時は気持ちが不安定であり、暴言・暴力があったご利用者に職員一人一人がしっかりと関わること、行動心理症状の軽減を目指した取り組み						
		第2	施設	排便コントロール	特別養護老人ホーム	介護職	興水 孝枝	
⑥	～めざせ自然排便～		長寿荘	介護職	小池 彩			
自然排便を促すため、オリゴ糖とサンファイバーを使用した取り組み								
6	10:30~10:45	第1	施設	内出血を減少させるために	介護老人福祉施設	介護職	小宮山 正徳	
			⑥	利用者様の安心・安全な生活を目指して	敷島荘			
		内出血に関わる原因究明と援助方法の改善についての発表						
		第2	施設	穏やかに生活するためには	特別養護老人ホーム	ユニットリーダー	中村 克身	
⑥	内服薬を見直そう		山美家					
内服薬の見直しを行い、ADLの向上にむずびつた事例								
10:45~11:00		休憩 (15分)						
7	11:00~11:15	第1	施設	ユニットケア	特別養護老人ホーム	ユニットリーダー	小林 莉奈	
			⑦	我が家にするために	風林荘別館	ユニットリーダー	渡邊 里美	
		平成30年3月開設からのユニットケアの取り組みと課題						
		第2	施設	『1日3回で大丈夫け』	特別養護老人ホーム	副リーダー	板山 友佳	
⑥	～個別ケアとスキルアップ～		明山荘	介護職	早川 のぞみ			
1年間TEANを使ってみての個別ケアとパットの当て方・排泄介助の意識・清潔保持などのスキルアップについての発表								
8	11:15~11:30	第1	在宅	チームで安心安全の介護力向上	デイサービスセンター	介護リーダー	小笠原 和史	
			⑧	ヒヤリハット報告を通して気づきの力を	白根聖明園			
		ヒヤリハット報告を見直し、改善することで、職員間の気づきの力を高め、チーム全体での安心安全の介護力向上を目指した発表						
		第2	施設	動き出しは当事者から	特別養護老人ホーム	介護職	白鳥 健太	
⑥	「その人らしさ」とはなにか		芙蓉荘	介護職	堀内 拓真			
利用者の「動き出し」を見つけ、その「動き出し」から「その人らしさ」を引き出すために取り組んだ発表								
9	11:30~11:45	第1	施設	事故に対する危機意識	特別養護老人ホーム	介護職	岡田 雅之	
			⑨	安心安全に生活してもらうために	恵信サテライトロジェ山梨	介護職	久保田 賢次	
		事故分析検討会を設置し、事故報告書の見直しや事故発生時のカンファレンスを行った取り組みについての発表						
		第2	施設	入居者の方がらしい暮らしを 続けていく為に	特別養護老人ホーム	介護職	伏見 花加	
⑦			ゆめみどり	介護リーダー	佐藤 隆之			
ユニットケアを取り入れた個別ケア実践に向けたユニットでの取り組み								

時間	会場	発表内容	演題		発表者			
			副題	施設名	職種・役職名	氏名		
10	11:45~12:00	施設	手と手		特別養護老人ホーム	介護職	今野 祐一	
			⑩	よりよいケアにする為	大月富士見苑			
		委員会活動で取り組んだ排泄基本介助についての発表						
		施設	BCP（事業継続計画）の策定		特別養護老人ホーム	事務職	佐野 芳彦	
⑨	職員による計画づくり		春光園					
職員による「事業継続委員会」での検討を経て、非常事態が発生した場合に、事業の継続あるいは早期復旧を可能にするためのBCP（事業継続計画）を平成30年に策定した取り組みの発表								
12:00~13:30		昼休憩						
11	13:30~13:45	施設	忘れ物ゼロを目指して		介護老人福祉施設	介護職	永田 利之	
			⑫	ご家族との信頼関係を築く	敷島荘（SS）			
		業務内容を改善し、短期入所ご利用者様の荷物管理を改善した取り組み						
		施設	スピーチロックへの取り組み		特別養護老人ホーム	介護リーダー	赤池 毅	
⑩	「ちょっと待って」をちょっと待って		寿荘					
施設内全体でスピーチロックについてのアンケートを実施し、現状の把握、問題点・改善点を探った取り組みの発表								
12	13:45~14:00	在宅	夫婦で寄り添いあいながら在宅生活を続けていくために		小規模多機能型居宅介護支援事業所	介護職	吉岡 悠也	
			⑭	専門職として私たちが出来る支援とは	湯苗田			介護職
		日中での活動量の増加による睡眠時間の確保および生活リズムを整え、家族と共に在宅生活を続けていくにはどうすればよいかを考え、取り組んだ発表						
		施設	福祉用具を取り入れて		特別養護老人ホーム	介護職	志村 信明	
⑫			なでしこ					
職員数名の腰痛をきっかけに、福祉用具を使用してお互いにとって負担の少ない介護を目指した取り組み								
13	14:00~14:15	施設	「すっきりウンチッチ」 part 1		介護老人福祉施設	介護職	岡田 隼江	
			⑮	介護力向上委員会活動報告 最期の時でもトイレでの排泄を目指して	トリアス			介護職
		看取りの方をはじめ、経管栄養、便秘症のかたにもトイレでの排便ができるよう、アプローチを行った過程の発表						
		施設	私達ができるケア		特別養護老人ホーム	介護職	岸本 彩	
⑫			笛吹荘	介護職	丸山 美紀			
業務内容を見直し、利用者に自己選択・自己決定できる時間がもてるようになった取り組みの発表								
14	14:15~14:30	施設	「すっきりウンチッチ」 part 2		介護老人福祉施設	看護職	中川 百合子	
			⑮	最期の時までトイレでの排便をめざして看護職としての協働	トリアス			
		介護職が取り組んでいる排泄ケアに看護職として協働し、利用者のQOLが向上し、私達も介護に対してやりがいを得られたことを発表する						
		施設	そんなに怒っちゃし		特別養護老人ホーム	介護職	横森 将輝	
⑥	穏やかな生活を送るために		穴山の杜					
職員や他の入居者への暴言・暴力がある方への対応についての発表								

時間	会場	発表内容	演題		発表者		
			副題	施設名	職種・役職名	氏名	
15	14:30~14:45	施設 ⑫	記録の電子化	特別養護老人ホーム	介護職	渡邊 朋恵	
				おりひめ	介護職	新田 貴子	
		記録の電子化の導入から導入後の経緯についての発表					
		施設 ①	末期癌の入居者様の痛み 苦しみに寄り添う看取りケア	特別養護老人ホーム	介護職	井上 愛美	
恵信ロジェ山梨	介護職			大島 いくみ			
施設で看取る末期がんの入居者様に対して、痛みや苦しみの緩和ケアに取り組んだ事例							
14:45~15:00		休憩					
16	15:00~15:15	施設 ⑥	肌トラブルの改善を目指して	介護老人福祉施設	介護職	千葉 綾香	
			皮膚状態の改善を目指す多職種での 情報共有と業務の統一化	敷島荘			
		肌トラブルの改善を目指した多職種での取り組み					
		在宅 ②	K・S様と係って	小規模多機能型居宅介護支援事業所	介護職	奥脇 慶香	
しののめ	介護職			後藤 純恵			
K・S様のQOL向上において、小規模多機能型として係った事例の発表							
17	15:15~15:30	施設 ⑥	鶴で恩返し	特別養護老人ホーム	介護職	小野 博子	
			みんなに思いを込めて	明山荘	介護リーダー	清水 大輔	
		人との関わりが少なかった方が、趣味を通じて他者との関わりによりおきた心境の変化についての発表					
		在宅 ②	ICFを活用したアセスメント	笛吹荘	介護職	秋山 さち子	
デイサービスセンター	介護職			萩原 恵			
ICFの着眼点をもとにアセスメント表を作成し、状態把握、課題をわかりやすくした取り組みの発表							
18	15:30~15:45	施設 ⑥	快適な排泄を目指して	楡形荘	介護職	杉山 さと美	
			second excretion~排泄第2弾~	介護老人福祉施設	介護職	小林 信	
		取り組みを始めてから2年、昨年からの課題を踏まえ、利用者一人一人に適した排泄をめざしており、その経過に関する報告					
		施設 ⑥	よかれと思って	特別養護老人ホーム	介護職	樽林 那月	
明山荘	介護職			トニ ワレクザ ドロク サリフ			
食事を楽しみにしている利用者H様。上義歯は使用していたが、下義歯は使用しておらず、スタッフは下義歯があればもっと食事を楽しめるという自信があった。家族から了承を得て下義歯を作成したが本人にとってはストレスが大きいことがわかった。その後の様々な問題を抱えるH様に対する支援についての発表							
19	16:00~16:15	施設 ⑩	自施設の権利擁護とは？基本的視点に立ち返る	特別養護老人ホーム	介護主任	佐野 武志	
			「Try to the improvement of care」	昭寿荘			
		「思いにより添うケアを推進するための手引き」を活用した研修をきっかけに、スタッフ一人一人の意識が向上し、多様なサービス改革へと繋がった成果の発表					
		施設 ⑥	リハビリを通して生きがいを見つける	特別養護老人ホーム	介護職	小田切 政樹	
ヒルズ勝沼							
また歩けるようになりたいという本人の気持ちを聞き、取り組んだ成果を発表する							

時間	会場	発表内容	演題		発表者			
			副題	施設名	職種・役職名	氏名		
20	16:15~16:30	在宅	小規模は介護じゃない		明山荘	ケアマネジャー	横森 咲希	
			⑭	介護サービスだけでは括れない 小規模多機能型居宅介護事業所のあり方		介護職	望月 大助	
		小規模多機能型サービスの実際について、回想法等を用いたレクリエーションや日帰り旅行のほか、地域交流事業など、事業所が取り組みを行った大小さまざまな事例を通して紹介する						
		施設	⑥	パーミヤンのから揚げを食べたい		グループホーム	介護職	倉田 哲
あなたにとって大事なものは何ですか？				湯苗田	介護職	天野 浩輝		
その人にとっての大事なことをかなえるために、ケアワーカーが何をできるか考え、取り組んだ発表								
21	16:30~16:45	施設	看取り介護を実践して良かったこと、 反省点、今後の課題		特別養護老人ホーム	介護職	山田 宏明	
			①	ご本人、ご家族の希望に沿い支援する				オアゾSやましろ
		「家に帰りたい」という希望に添っての一時帰宅支援や家族や職員の提案から開催した誕生日会、ご夫婦で入居されていた方の思い出づくりや残された奥様への心のケアに取り組んだ事例発表						
			②	介護ロボットの導入・活用の展望について		山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科	教員	伊藤 健次
先進的事例の分析と山梨県内の実情				前川 有希子				
官民協働で介護ロボット等の開発や普及推進に向けた事業が展開されているが、介護ロボット等の導入には様々な課題が指摘され、有効活用できていない実情がある。介護ロボット等の導入にあたり、介護施設・事業所に必要とされる取り組みや、取り組みを支える考え方についての調査研究の発表								
16:45~17:00		総評（第1会場、第2会場）						
17:00		終了						